

キャリアデザインだより

～from School to Work place～

保護者の皆様へ 第1号

胆振教育局

キャリアプランニングSV 西 智子

令和5年12月22日(金)

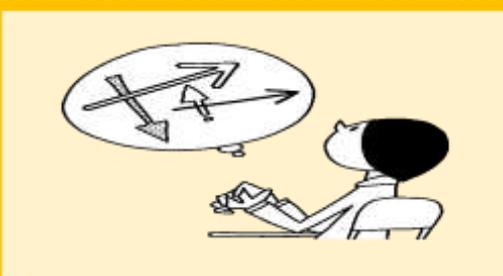
1・2年生の保護者の皆さまへ

学校の活動がコロナ前のように実施出来るようになりました。お子様はどのように学校生活を送っているのでしょうか。各学校では、進路活動として1年生から「**進路を見据えてのキャリア教育**」に取り組んでいます。今後の自分の姿をイメージするとともに、インターンシップ等への取組みにより、自分の進路を模索します。実は、この**1年生・2年生の【自己発見(自己理解)・自己伸長】の時期が重要**になります。なぜなら、昨今の進路(特に就職)活動は短期間となる傾向にあり「進路の決定」で悩むお子様が多いからです。(学校生活の頑張った経験が自信につながり、重要な鍵となり、前向きな進路選択に繋がります。)

自分は何に興味があるのか。(何を学びたいのか)自分の能力を知り、どんな仕事に向いているのか。また、自分を生かしていける道があるのか。1・2年生から意識して欲しいです。自己発見の中で**進路決定のヒント**に気がついた生徒は、自分の将来に対し主体的に動けると考えます。進学希望の生徒さんも、「**進学の先に必ず就職がある**」ことは忘れてはいけません。

「**※進路の準備**は、3年生になってから考える」では、時間がなく保護者もお子様も大変焦ります。ですので、難しいことですが、**進路に関してお子様と話す機会を設け、お子様の小さい頃からの頑張りや長所(強み)を伝え、自信を持たせるなどの温かく見守るサポート**をお願いします。

※進路の準備：自己理解と仕事理解(興味探索)



《高校生の進路選択についての
気がかり》 BEST3
【学力が足りないかもしれない】
【自分に合っているものがわからない】
【やりたいことが見つからない、わからない】
Career Guidance VOL421

【今、求められる家庭での「キャリア教育」】

Q.「キャリア教育」よく聞く言葉ですが、家庭でどんなことをしたら良いですか？

A.働くために必要なことは、心身共に健康であることです。毎日の学校生活や日常生活での頑張りが働くことに繋がります。「挨拶・時間の厳守・マナーなど」を意識させること。また、「基礎学力と体調管理の大切さ」を伝えて下さい。

初級編：ただ、話を聞いてあげる。(話すことによって、色々な振り返りが出来る。自己理解に繋がる)

中級編：勤労感・職業観につながるヒントを与える。(親の背中を見せる。辛いことだけでなく楽しいことも伝える。)

上級編：お子様の成長を信じて見守る。(「そうなるには、どうしたら良いかな」などの前向きな質問してみる。自己決定を支える。)

●**お子様が社会で自立し、自分の人生に責任をもつように促すこと**

出典：「就活生に親が言ってはいけない言葉 言ってあげたい言葉」Gakken